

発行 **大竹辰治事務所**
 日本共産党 区議会控室
 大田区蒲田5-13-14
 電話 5744-1477
 事務所 大田区西蒲田5-9-12
 電話 3735-2611
 自宅 大田区東矢口3-11-19
 電話 3736-4202
 E-mail:tootake@apricot.ocn.ne.jp
 http://www10.ocn.ne.jp/~tootake/

日本共産党大田区議会議員

大竹辰治 ミニレポート



ご意見・ご要望をお寄せください

国保料の引き下げを 党議員団が区長に要望



日本共産党大田区議団は3日、松原大田区長に対し、国民健康保険に関する申し入れを行い、遠藤副区長が応対しました。

4月からの消費税の増税に加え、今年度の国保料納付書が6月12日に一斉に発送され翌13日には加入世帯に届くとされますが、党区議団および党地区委員会は、以下の3項目を緊急に要望します。

1. 国民健康保険料値上げを中止すること。
2. 保険料を抑えるために、国民健康保険への国庫負担割合を増やすことを国に求めるとともに、東京都にも財政支援を求め

ること。また、大田区でも支援を強化すること。

3. 区民からの問い合わせに臨時体制をとり充分な対応をすること。また、生活や営業に支障をきたすような差し押さえはしないこと。

大竹区議 地域・産業 羽田空港対策 特別委員

5月24日、大田区議会は臨時議会で各委員会の構成が変更になり、大竹辰治区議は、地域・産業委員会、羽田空港対策特別委員になりました。

臨時会では各委員会の正副委員

長の選出をしました。日本共産党大田区議団からは昨年同様、交通問題対策特別委員会委員長、保健福祉委員会副委員長が選出されました。

《常任委員会》

☆総務財政委員会

委員 和田正子

委員 黒沼良光

☆地域・産業委員会

委員 **大竹辰治**

委員 佐藤伸

☆保健福祉委員会

副委員長 福井亮二

委員 清水菊美

☆都市・環境委員会

委員 金子悦子

☆こども文教委員会

委員 藤原幸雄

委員 菅谷郁恵

☆議会運営委員会

委員 和田正子

委員 菅谷郁恵

《特別委員会》

☆スポーツ・観光

委員 菅谷郁恵

☆防災・安全対策

委員 福井亮二

☆交通問題調査

委員長 清水菊美

委員 金子悦子

☆羽田空港対策

委員 和田正子

委員 **大竹辰治**

委員 黒沼良光

委員 藤原幸雄

委員 佐藤伸

法律相談

顧問弁護士による法律相談です。
 お気軽にご利用ください(毎月第2水曜日)

7月9日(水)・8月13日(水)

午後1時～3時

場所 大竹辰治事務所(西蒲田大城通り)

事前にお電話ください ☎ 3735-2611

大田区が国家戦略特区に指定 区民の幸せになる計画？



5月1日内閣総理大臣決定で国家戦略特別区域の指定区域が発表され、全国で6か所、その一つに、千葉県成田市、東京都の9つの区並びに神奈川県が指定され、その中に大田区が入りました。

4月28日の国家戦略特区ワーキンググループによるヒヤリングが行われ、大田区は、「羽田発ビジネス再生・強化戦略へ国際都市おおた」と題し、特区の規制改革事項を活用した取り組みに関する

考え方として、8プロジェクトの提案を行ったことが報告されました。

国家戦略特区は国家主導で推進するため大田区の提案が区域計画に反映されるかどうかは未定であるのに、区長は地域指定を歓迎しています。

規制緩和で「ルールなき無法地帯」に

規制緩和による大田区民、区内労働者へのマイナス部分・弊害については、大田区は検討していないと答えています。区全体のプラスになる計画でしょうか。

その一つの、蒲田駅周辺のリニューアルでは、蒲田駅周辺の整備を容積率緩和で新たなビジネス空間を創造する提案ですが、それが一番恩恵を受けることになるのでしょうか、まさに駅ビルの建て替えを推進させるものです。

また、蒲田駅周辺再開発をすすめるもので、駅周辺の建て替え推進を従来通りに行われれば、住み

慣れた町に住めなくなる街づくりをすすめることになり。京急蒲田・糀谷駅前再開発では、賃貸借人はほとんど全員、土地所有者も含めて4割の住民が住み慣れた土地から出なければいけない状況になっています。

また、外国人労働者の在留資格の見直しは、中小企業の技術者が低賃金で確保できなく外国人労働者で確保するためとの説明ですが、低賃金の職場は外国人に押しつけ、中小企業は低賃金が当たり前と固定化するとともに、国民の雇用拡大につながらないことは、区内労働者の雇用縮小・賃金の引

8プロジェクトでTOKYOの都市カアップ		特区法による規制改革事項の活用				
大田区の提案		容積率	エリアマネジメント	容積率	在留資格	雇元誘引
I 羽田空港を活用した都市・交通機能の強化	1 羽田空港跡地のまちづくり	○	○			○
	2 蒲田駅周辺のリニューアル	○	○	○	○	○
	3 「新空港線」の整備	○	○			
II グローバルなビジネス環境の整備	4 メディカルデバイス開発企業集積				○	
	5 創業・イノベーション創出				○	○
	6 外国人材の活用				○	
III 「おもてなし」の国際都市の実現	7 「箱のおもてなし」エントランス	○	○			○
	8 ホームホテル事業			○		

東京圏の政策課題

き下げにつながる可能性があります。区長はこれらの点についても区民に説明責任があります。

さらに、新空港線の整備や羽田空港跡地の産業交流施設の整備など、規制緩和により多額の税金投入になる計画推進を提案していることです。新空港線整備資金積立基金15億円余、羽田空港対策積立基金171億円余を、中小企業や区民の医療、介護、子育て安心で使ったらどれだけ区民を支援することができるでしょうか。

国家戦略特区構想は、安倍政権が「成長戦略」を推進するため「大胆な規制改革」を起爆剤として位置づけ、大企業、多国籍企業、グローバル企業が邪魔とみなした規制を徹底的に見直し撤廃することが主眼です。国民にとってなくてはならないルールを成長という名目で取り払ってしまうのが狙いです。

このような「ルールなき無法地帯」に区民が巻き込まれる国家戦略特区ではなく、区内中小・小規模企業を支援し、区民の家計を豊かに、医療、介護、子育て安心で「世界一暮らしやすい街大田区」の区政が求められています。